



3月定例会で板津市議は8番目に登壇。大項目で1点1項目を質問した。新年度が始まってひと月が過ぎました。学校や職場でもそろそろ新しい環境に慣れてきた頃ではないでしょうか。さて、市議会では3月の第1回定例会において、25年度予算案が可決されました。

市長の施政方針では、4つの重点方針が示され、「地域・経済の元気づくり」では新規事業として団地再生事業が実施されます。具体的には市内19団地をモデル地区として「空き家・空き地バンク」制度を創設し、定住人口の増加と地域の活性化を図ることが目的です。現在、可児市では特に西可児地区で空

家・空き地が多く存在し、団地に住んでいる方には切実な問題となつていきます。私としても、この事業については運用も含めしっかりと注視していききたいと思えます。

3月議会では、「学校、幼稚園、保育園の危機管理実施状況は」というテーマで一般質問を行いました。市内でもまだ不審者による被害が後を絶たず、幼児・児童生徒の学校及び通学途中での安全を守るために、このテーマを取り上げました。

その結果、兼山保育園には24年度予算で防犯カメラが設置され、瀬田幼稚園にも25年度予算で防犯カメラが設置されることになりました。

詳細は2面に掲載致しましたので、ご一読下さい。

私自身、新年度を迎え、新たな気持ちで市民のみなさまの声をお聞きし、市政へと届けていきたいと思えます。

板津 博之



編集発行元
板津ひろゆき後援会
〒509-0223
可児市羽生ヶ丘3-159
TEL 0574-50-2217

教育現場における不審者対応 危機管理の具体策は

3月定例会で板津市議は8番目に登壇。大項目で1点1項目を質問した

活動報告と予定 (2013.2月~2013.6月)

2月	
4日	誠颯会会派視察(東京)
5日	議会広報特別委員会
8日	可児川一斉清掃
16日	可児シティマラソン大会
17日	第1回定例会 開会・提案
25日	予算委員会(予算説明①)
26日	予算委員会(予算説明②)
	予算委員会(予算説明③)

3月	
1日	水道会計勉強会
4日	国保・後期高齢者・介護保険会計勉強会
6日	本会議(一般質問1日目) 議会広報特別委員会
7日	本会議(一般質問2日目)
13日	予算委員会(質疑:総務企画所管)
14日	予算委員会(質疑:建設市民所管) 建設市民委員会
15日	予算委員会(質疑:教育福祉所管)
19日	予算委員会(討論・採決) 建設市民委員会
25日	本会議(委員長報告・採決・閉会)
27日	久々利保育園卒園式

4月	
5日	久々利保育園入園式 議会広報特別委員会
8日	中部中学校入学式 東明小学校入学式
11日	市町村議会議員特別セミナー
12日	
24日	平牧公民館運営審議会
28日	可児市総合体育大会

5月・6月予定	
5月12日	議会報告会①(姫路公民館)
5月17日	議会報告会②(桜ヶ丘公民館)
5月18日	議会報告会③(兼山公民館)
5月28日	議会全員協議会
6月4日	本会議(開会・提案) 議会広報特別委員会
6月11日	一般質問
6月12日	一般質問
6月13日	一般質問(予備日)
6月18日	総務企画委員会
6月19日	建設市民委員会
6月20日	教育福祉委員会
6月21日	予算決算委員会
6月22日	本会議(委員長報告・採決・閉会)

市議会質問 2面
板津市議の質問内容
「学校・幼稚園・保育園の安全対策」

活動紹介 3面
久々利にある我田の森で里山保全に取り組む「里山クラブ可児」の活動を紹介

可児道楽 3面
コラム「鬼の霍乱」
文月子

会員投稿文 4面
「ひとつの夢」
広眺ヶ丘地区会員

行事 4面
後援会総会の模様

お知らせ 4面
・後援会旅行参加者募集
・清掃ボランティア

板津博之の一般質問 平成 25 年第 1 回定例会 (3 月 6 日)



不審者侵入対策済みの公立保育園

不審者から子どもたちを守るには

各学校、幼稚園、保育園ごとにそれぞれの地域の実情に合った独自のマニュアルが必要であり、通常時だけではなく、運動会や授業参観など学校や幼稚園の行事、登下校時なども想定し、防犯訓練を繰り返し実施する中で実効性を増すものと思われまふ。さらに、教職員等の危機管理意識を高めるために防犯訓練や研修を充実させるとともに、子ども自身が危険を予測し回避できる力を養うことができるように、実践的な防犯教育を推進すべきであると考えます。そこで、既にこれらの安全対策は実施されているものと思いますが、改めて本市の学校、幼稚園、保育園の危機管理実施状況について、以下 5 点、お尋ねします。

学校、幼稚園、保育園の安全対策では不審者を構内に入れないことが基本になり、門やフェンスの設置や防犯監視システムの整備が重要となります。(最近では、2 月 6 日の午後 8 時頃に東明小学校プール南側男子トイレに成人男性が侵入し、ペットボトルにドライアイスを入れて爆発させる事件が起きております) 防犯マニュアルについては、

実践的な防犯教育の推進

平成 13 年 6 月に大阪教育大学附属池田小学校において、凶器を持った男が侵入し、児童や教諭が殺傷されるという、あまりにも痛ましく、安全であるべき学校において決してあってはならない事件が発生しました。以来、各自治体や学校では教室や校門に危険情報を伝えるインターホンを設置したり、子供に防犯ブザーを配付するなど安全対策を進めております。しかしながら、類似した事件は後を絶たず、学校や通学路の安全対策を再点検し強化することが求められています。

学校・幼稚園・保育園の安全対策



一般質問する板津市議

板津市議の質問	教育委員会事務局長の答弁 (小中学校を所管)	健康福祉部長の答弁 (幼稚園・保育園を所管)
構内安全組織の整備状況、学校及び幼稚園・保育園における施設、設備の危険箇所や通学路の安全点検の実施状況	学校保健安全委員会などを組織し、防災や防犯対応、健康管理に努めている。学校の施設・設備の危険箇所については、月 1 回全職員による安全点検を実施するとともに、日頃からの安全管理に努めている。通学路の安全点検については、登下校時の教職員による指導や、PTA 地区委員による安全点検、親子登下校の際の安全点検を行うなど、教師と保護者が連携して行っている。	全ての園で園長を中心とした役割分担が定められている。
教職員等の危機管理意識定着のための実践的研修・訓練の状況	救命救急講習、危機管理研修会の実施及び不審者対応訓練、火事・地震対応の訓練を実施している。	全ての園で職員が門扉等に注意を払い、遊具の点検も定期的にも実施している。
校門やフェンスなどによる不審者侵入防止対策の状況	児童生徒が学校で活動している間は、校門を閉めている。また敷地の周りはフェンスで囲い、不審者の侵入防止に努めている。小学校では安全サポーターが校舎内外の安全に気を配っている。	全ての園で危機管理研修を実施しており、避難訓練については年 1～3 回実施している。
防犯機器(防犯カメラ)などの設置状況、全教職員への運用指導状況	全小中学校に防犯カメラが設置してあり録画をしている。運用については、職員室にモニターが設置してあり管理をしている。異常があった場合には、その時間帯の画像が確認できるようになっている。	防犯カメラは 11 園で設置しており、オートロック式の門扉は 7 園で設置、県警本部等への非常通報装置は 12 園で設置している。防犯機器の運用指導は全ての園で実施している。
子どもへの防犯教育実施状況	岐阜県警や可児署と連携し、連れ去り防止教室を開催して防犯教育に努めている。また、不審者情報があった場合には、全校放送で連絡し、注意喚起を促している。長期休暇の前には、生徒指導主事を中心に児童生徒に防犯指導を行っている。	日常的に園児に話すと共に、警察官による講話や、不審者訓練を全ての園で実施している。



魅力ある里山に触れて

～可児我田の森～



自然豊かな我田の森

里山クラブ可児 (会員56名)

漠然と思い描いていた、里山に一歩足を踏み入れてみると凄かった。そして夢溢れるところでもある。久々利交差点から83号線を北へ進み、しばらく進むと南行き車線の路肩に小さな看板で「我田の森」進んでゆくとテーマポールのお出迎え、道中の両脇は整備されつつある林が森林浴をさせてくれた。豊富な湧水に手を入れ、木々や草花に目をやりながら、到着した「大岩夢工房」視線の先には大きな岩、ずっと昔からそこに存在していることに畏敬の念が湧く。

里山クラブ可児は、発足して13年となる。可児市環境基本計画の策定に伴うワーキンググループを前身とし、平成12年4月、5名の有志により誕生、その後12名、13名の仲間と道具を持参し緑の丘公園の周囲の草刈や木々の伐採等整備を手掛けたという。

2年後、市民緑地として位置付けられた「我田の森」可児市の仲介で里山保全活動地として協定を結び活動が本格的に始まった。色々な財団や国・県・市の助成により、器材・資材を購入して大

松茸が話題に!

その中でも興味深かった出来事は、県の助成金を受け松茸の森を再生するプロジェクトに取り組んだ時のことだ。新聞の折り込み等で参加者を募った時、80名以上の応募があり一部の方は今も会員として活動されているという。松茸の魅力は凄い。整備や植林された赤松林は順調に育っているもの、松茸が口に入るのはいつのことだろうと思いつつも夢は大いに膨らむ。

約18haを里山として整備し続ける会は、可児市環境フェスタの企画を始め、いくつもの公開講座を開催する等、里山の保全活動に興味と理解を広める活動もしている。講習会参加の感想

講習会参加の感想

・自然観察で学ぶ草花や生き物に感嘆
・餅つきで「杵を持った、餅を手返しした」子供の得意満面な笑顔



自然と触れ合えるイベントも多彩

・つる筆作りで悪戦苦闘しながらも、自然を享受し、素直に作る喜びを味わった。

私達が日頃便利や快適を追求していることが次世代に伝えたいことなのか考えさせられる。魅力満点の「里山クラブ可児」一度訪ねてみてはいかがですか?

《例会活動日》毎月第3日曜日・第4日曜日 AM 9時～PM 3時

里山クラブ可児(代表 鷲見鏡)の皆様には取材にあたりお忙しいなか大変お世話になりました。今後のご活躍と発展を祈念いたします。(記)

可児道楽

〈鬼の霍乱〉

文月子

青天の霹靂だった。肺炎ですわね……。考えてもいなかった医師の言葉に頭の中はまるで力オス。まだまだ若い、気力で回復してみせると油断していた自分が情けない。ここ数日咳込んだり微熱が続いてはいたが、後になり38度前後を彷徨し続け39度5分まで上がるともうイケない。氣息奄奄(息も絶えだえ)の状態が続くこと約10日、発症から完治まで20日以上もの日々を臥つたことになる。齢を重ねるとこうも脆いものか▼布団の中では混沌とした頭の中でこの地に越してきた(29歳)頃の元気な私と、その頃の周りの状況、景色、歴史等を思い浮かべては吐息をつき続けた▼当時は可児町だったが、若者もいっぱい、働く人とそれに呼応する企業もあり景気も右肩上がり、すべてが前向きに成長していた。それがどうであろう。団塊の世代が定年を迎え、結婚する人が減り、子供が少なくなり(いわゆる少子高齢化)先行きが見えない。まだまだ働きたいと思っている中高年の人どころか若者の働く場所さえない状態、企業を誘致するにもこの不景気の世の中、それ相應の予算や敷地等の難しい政治の思惑が重なる。アベノミクスで景気が上向くのか手探りの状態だ▼ちなみに工場閉鎖で深刻な問題となった美濃加茂のソニーは昭和55年工場誘致の調印式、名鉄犬山は広見間の複線化は昭和45年に実施、同時期に可茂消防組合発足、市の炭鉱すべて閉山、住宅用地建設が盛んとなっている▼難しい話になったが、ここを終の住処と決めた以上は、よりよい町、地域、仲間づくりを志し健康で明るい生活が出来るように努力精進したい。臥つている間、仲間から「鬼の霍乱」だと揶揄されたりましたが、温かい電話やメール等も頂いた。定住して40年、奇しくも年齢70歳の節目の私である。

(参考文献)可児加茂の100年

後援会総会開催



アールで行われた後援会総会

第 2 回後援会総会を 3 月 23 日 (土) 19 時よりアールのワークショップで開催した。はじめに副会長より 12 年度議員活動および後援会活動経過報告があり、続いて 13 年度の役員選出と承認が行われ、最後に質疑応答があった。12 年度の議員活動報告と質疑応答は次のとおり。

5 月の第 2 回議会報告会、可児市議会での一般質問での消防団員の確保、多重債務者支援、防災行政無線のデジタル化について及び、

防災士資格取得を目指し、受講した防災リーダー養成講座受講、いじめ防止条例制定について報告。

質疑応答内容

○防災行政無線 (遠隔防災無線) が聞こえない。

○議員でチームを作り大きなテーマに取り組めないか。

○自治会加入率が下がっているが、対策はないか。

○名鉄広見線の乗降客低下の対策は？ (店舗誘致、沿線活性化)

○企業誘致・企業撤退に関して (可児市、美濃加茂市の実態)

○可児市内の就業率は？

○団塊世代の再就職先を市内に求めたい。皆さんの貴重な意見を今後の議員活動に取り入れていきたいと思えます。

(板津)



1 年を振り返る板津市議

ひとつの夢
現代社会は高齢化が進み、老人社会がじわじわと占有し始めている。可児市の人口は市街地に集中しているのではなく、大きな団地族で形成されているのが実態である。その団地族も子供が出ていき夫婦二人で住む家庭も少なくない。スーパーなどへの日常の買い物に、車で行くうちは余り不便を感じないが、買い物ばかりでなく病院や公共施設などへ行くのに車は生活に欠かせないでしょう。

それが知らない間に車に乗るのが困難になってくる時が訪れる。生活のリズムが狂い始める。さあ、あなたならどうしますか？

ひとつの手段として私なりに夢を描いてみたのです。それは可児市のコミュニティバスの利用拡大です。80 歳以上から自動車免許の返納者に年間 300 5500 円の負担で無料パスが受け取れるようになる仕組みです。時間の制約はあると思うが、どうでしょうか。誰か私の夢を実現してくれませんか？ 賛同してくれる人を探しています。何年か先でいいんです。まだ私は 70 歳ですから。

広眺ヶ丘 M・A

編集後記

板津ひろゆき後援会便り「一日一前」第 7 号をお届けします。

一日一前を配布していて皆さんから「苦労様」「いつも読んでますよ」と声を掛けて頂けるのが編集に関わる者には何よりの励みとなり、苦労が報われます。

五月晴れの季節、今は芒種 (田植の季節) も早くありませんが、田植えが済んだ水面に幼苗が心細く顔を出しています。半月もすれば逞しく育ち、秋には稲穂が見事に秋風に揺れて、私達に「新米」の味を提供してくれることでしょう。

諺に「実るほど頭を垂れる稲穂かな」とありますが、成長する稲に学び、後援会も謙虚な姿勢で活動してまいります。

編集部では皆様の投稿をお待ちしております。

編集部 J・H

可児道楽

清掃ボランティア募集

毎月第 1 日曜日午前 8 時

板津宅集合

次回 6 月 2 日 (日)

参加者は後援会事務所へ連絡

後援会旅行

日時 6 月 1 日 (土)

場所 伊勢神宮

※詳細は参加者に案内します

※参加希望者は板津まで



COFFEE BREAK コーヒー ブレイク

昭和の名言集より



男の顔は「履歴書」
女の顔は「請求書」

ネットで検索

板津博之

検索

ポチ



板津ひろゆき オフィシャルサイト
<http://www.hiro-itazu.jp>

